

平成26年度採択 領域開拓プログラム(公募型研究テーマ)
◆課題：「行動・認知・神経科学の方法を用いた、人文学・社会科学の新たな展開」
◆研究テーマ：「高齢者の生活行動データベースの構築および可視化による振り返り学習の実践」

＜研究代表者＞

溝上智恵子：筑波大学 図書館情報メディア系／教授

＜専門分野＞：教育政策

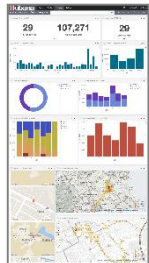
＜研究目的、概要＞

超高齢社会の急速な進展への対応＋情報格差の是正
高齢者の生活環境に即した問題解決の必要性



ウェアラブルデバイスによる高齢者生活行動データ
収集と振り返り学習による生きがい創出のサポート

- ・スマートフォンによるライフログデータの収集とデータ可視化によるフィードバック
- ・振り返り学習による学びの深化と行動変容
- ・図書館を利用した情報入手のサポートシステム



＜異分野間での研究プロジェクト運営＞

各自の専門分野の強みを生かした研究担当を決める一方、各自が使用する基本的概念や専門用語を研究当初にディスカッションして「違う」ことを認識して研究スタートしたことが成功要因

＜研究成果、波及効果等＞

- ・スマートフォン利用のライフログデータの収集
コミュニケーション型ロボットによるライフログ解析データの提示 → 高齢者データリテラシーの重要性
高齢者の行動変容の確認
- ・高齢者を対象とした情報探索プログラムの開発と実験
タブレット端末を用いた情報検索力獲得のための実証実験（秋田、札幌、生駒の公共図書館）
- ・高齢者情報支援ツールとしてのコミュニケーション型ロボット利活用の可能性検証

*** 社会科学の新たな発展**

高齢者の生涯学習や情報格差の是正という社会科学の研究課題に対して、ライフログというエビデンスや高齢者の認知という視点から新たな研究深化へと導いた



*** 発展的研究の例**

科研(基盤B)「社会参画をめざす高齢者のためのデータリテラシー学習プログラムの開発」＜2018-2021＞
(代表：溝上智恵子)